

# 健康診断結果の見方

毎年の健康診断結果の変化をみると、自分の体の状態がどの程度安定しているかを知ることができません。歳を重ねると、少しずつですがLDLコレステロールは上昇し、腎機能は低下します。これらの検査値を見て、自分が歳を重ねるごとに体の各機能がどのくらい低下しているか、ある程度確認することができらるわけです。

最近、複数のデータから検査値が計算される指標も増えてきました。例えば、腎機能を測るうえで重要な指標であるeGFRは、年齢、性別、クレアチニンの数値の3つの値から計算します。eGFRとは腎臓（糸球体）で血液からろ過されて作られる尿の量を示しています。この値は1

埼玉県立大学准教授 廣渡 祐史

歳増えると約1程度低下することが知られており、60以下になると腎機能が軽度低下と判断します。

より複数の値から計算される指標として、今後10年間に心筋梗塞などの心臓の血管の病気（冠動脈疾患）を発症する確率を求める吹田スコアというものがあります。吹田スコアは大阪の吹田市民約6000人の健康診断の結果と平



<26>



## 複数データ使い、参考値出すことも

均約12年間の冠動脈疾患の発症を観察して得られたデータにより作成された計算式で、年齢、性別、喫煙および糖尿病の有無、血圧、HDLコレステロール、LDLコレステロール、eGFRにより計算します。脂質異常症の治療方法は、この数値を参考にして決めることになっています。

ただ、ここで間違えてはいけないのは、健康診断などで示される1つの検査値が基準値から大きく外れていたとしても、病気であるとは限らないことです。

例えば、腎臓病の診断にはeGFRだけでなく尿蛋白定量など複数の検査値により判断していますので、eGFRの検査値が基準値から大きく外れたとしても、必ずしも腎臓病であるとは限りません。必ず専門の医師に相談して病気であるかどうかを確かめてください。

ここであげたeGFRや吹田スコアを計算するウェブページが幾つかありますので、興味のある方はぜひ調べてみてください。